佐世保市立黒髪小学校

「特色ある学校づくり」について

所在地　佐世保市黒髪町52－1

校　長　大浦 美輪子

児童数　462名

学級数　22学級

（児童数、学級数は R7.5.1 現在）

【教育目標】

優しく 賢く たくましく 心豊かな黒髪っ子の育成

【目指す児童像】

明るく元気な子ども 楽しく学ぶ子ども 仲良く助け合う子ども

【「特色ある学校づくり」の目的】

ひと、ふるさと、社会とつながり、豊かな人間性をはぐくむ教育活動を通して、将来かなえたい夢や希望を語り合い、その実現のために自ら学んだり、努力したりすることのできる、優しさとたくましさを備えた黒髪っ子の育成をめざす。

ひ　と	ふるさと	社　会
さまざまな体験活動を通して、人とつながり、触れ合う。	**地域の自然や施設、歴史や文化などについて関心をもつ。**	**環境や社会事象について体験的に学ぶ。**
・栽培活動 ・体験活動 ・家族や地域とのつながり	・地域の自然（環境保全） ・地域の施設 ・地域の歴史、文化	・SDGS の取組 ・学校をよりよくする自治活動 ・キャリア教育
↓	↓	↓
・人（他者）への関心 ・相手の思いや願い ・コミュニケーション能力	・愛校心の醸成 ・ふるさとへの愛着 ・伝統を受け継ぐ心	・共生社会の実現 ・自分にできる社会貢献活動 ・自己の生き方、社会との関わり方

＜各学年・学級の具体的な取組内容＞

【第１学年、特別支援学級】「花いっぱい運動」

【ねらい】

植物を育てる活動や環境美化活動を通して、生命を大切にする心や環境保全への関心を育むとともに、勤労の必要性について考え、働くことの喜びを感じさせる。また、自分たちが育てた花を卒業式会場などに飾ることで、6年生への感謝の気持ちや愛校心を育む。

【活動の概要】

ヒマワリやホウセンカなど様々な花を種から育て、学校の環境美化を図った。

【成果】

花を育てる活動を通して、生命を大切にする心を育てるとともに、自分の係や役割を果たす中で、友達と協力をして全体のために働くことの喜びを感じさせることができた。また、自分たちが育てた花で学校を彩ることで、愛校心も育まれた。

【第2学年、特別支援学級】「野菜を育てよう」

【ねらい】

野菜を育てる活動や環境美化活動を通して、生命を大切にする心や環境保全への関心を育むとともに、勤労の必要性について考え、働くことの喜びを感じさせる。また、友達と協力して芋を育て、秋に収穫を行い調理して食べる活動を通して、収穫の喜びを味わわせるとともに、命の恵みに感謝する心を育てる。

【活動の概要】

トマトやキュウリなどを学級の友達と協力しながら苗から育てた。収穫した野菜や芋などは、各家庭に持ち帰って、家族の人たちと調理して食べた。

【成果】

友達と協力して野菜を育て、収穫し、家庭で食べる活動を通して、収穫の喜びを味わい、命の恵みに感謝する心が育まれた。また、家族の人と調理することで家族だんらんの時間が生まれ、親子間の心の交流を図ることができた。

【第3学年】「黒髪再発見！」

【ねらい】

自分たちの地域「黒髪」について、知りたいことや調べたいという子ども達の思いをもとに、調査活動や発表を行うことで、自分たちの故郷を愛する心情を育てる。

【活動の概要】

子ども達から出された黒髪の「歴史」「自然（川）」「猫山ダム」「農業」などの調べたいテーマをもとに、グループによる調べ活動を行った。実際に現地に行ったり、関係者からのインタビューなどで聞き取ったりしたことを通して、まとめて保護者に対して発表することができた。

【成果】

自分達が住む町「黒髪」には、日頃気が付いていない様々な場所や歴史などがあることに気がっつく児童が多くいた。また、地域の方と連携して活動を進めたことで、自分たちの学びを深めてくれる学校外の人の存在に気が付くことができた。さらに、自分達が住む黒髪という町について詳しく知ったことで、黒髪をもっとよりよくしたいという実践意欲を高めることができた。

【第4学年】「佐世保市の魅力を伝えよう」

【ねらい】

3年生で学習してきた「黒髪のよさ」の学習を発展させ、佐世保市の魅力を調べ、おすすめの観光コースを考えて、パンフレットなどにまとめる活動を通して、佐世保市のよさや課題などについてより深く考える態度を育成する。

【活動の概要】

グループに分かれて、佐世保のよさについて観光面、自然、地形、産業などについて調べ学習を行った。調べたことをもとに、パンフレットなどにまとめ、発表する活動を行った。

【成果】

自分達が住む佐世保市には、どのような場所や、ものなどがあるかについて詳しく調べたことで、想像している以上に他の市に住む人に住む人に誇れる場所であるという思いを抱くことができた。このことが郷土を理解し、愛する児童の育成につながった。

【第5学年】「SDGS ～服のチカラプロジェクト～」

【ねらい】

世界には、自分達が住む環境とは異なり、貧しい生活をしている国や地域があることを知り、その中で、自分達にできることを考え、実践していこうとする態度を育てる。

【活動の概要】

UNIQLOの方をお招きし、世界の国では生活に困るほど貧しい生活をしている現状を教えていただいた。また、そのような国に対して、支援できる方法を紹介していただいたうえで、「服を様々な国や地域に送ること」も大きな支援の一つになることを児童は知った。児童は服を集め企業と連携して送るために、全校児童に洋服を提供してくれるようにポスターや声掛けを行った。集まった服（大段ボール5つ程度）を送ることができた。

【成果】

世界の現状を知ったうえで、自分たちにできることを考え、実践する取組を行う中で、児童が自主的に話し合、必要なことを考え、役割分担をして、実践する意欲と、行動力が高まった。

【第６学年】「きれいな黒髪のために（ごみひろい活動）」

【ねらい】

黒髪小学校の敷地内のゴミ拾い活動を行うことで、最高学年として学校をよりよくしていこうという思いを高めるとともに、全校児童に対してきれいな学校づくりの意識の向上を啓発する。

【活動の概要】

黒髪小学校の運動場などには、休日なども含め、多くの子ども達や施設利用などの方が訪れる。その結果、週明けの朝などは校舎周辺にごみが落ちていることもあった。児童からは「ゴミが落ちているので、もっときれいな学校にしたい」という思いが芽生え、その思いを実現するために校内のゴミ拾いを行った。

【成果】

６年生の児童が行ったごみ拾い活動により、敷地内もきれいになり、すごしやすい環境が整った。また、他の学年の児童の中から自主的にゴミ拾いを行う児童も増えるなど、愛校心や黒髪町をよりよくしようという思いが学校内に広がってきた。

【5・6年】「よりよい未来を描くために（キャリア教育）」

【ねらい】

講師（永田美絵様）を招き、5，6年生を対象として今後の生き方について考える機会を設けることで、自分らしく前を向いて進んで行こうとする考え方を育てる。

【活動の概要】

日本プラネタリウム協会の永田美絵様による講話を実施した。
（5，6年生　164名対象）

【成果】

宇宙や星についての講師の方の話を聞くことで、夢を持つことやそれに向かって努力することの大切さや、悩んだ時に心を軽くする方法等、今後の児童の生き方について貴重な示唆となる機会となった。

【5・6年】「（あいさつ運動）」

【ねらい】

黒髪小学校の高学年を中心に、朝から校門付近で、あいさつ運動を行うことで、子どもや保護者、地域の方などが笑顔でつながり合える関係性を築く。

【活動の概要】

5，6年生の児童（生活委員会及び有志児童）が日替わりで校門付近で朝から挨拶運動を行った。登校してくる児童や送迎の保護者等に対して、元気のよい挨拶を行うことで、1日のスタートを明るく元気にスタートしてもらうことをねらい活動した。

年間を通して、ボランティアで挨拶運動に関わる児童も多くおり、高学年の挨拶運動の伝統が引き継がれていることを実感した。

【成果】

自分達からあいさつを進んで行うことで、6年生児童のあいさつの意識が大きく向上した。校舎内でも教師や来校者に対して、自分から進んで気持ちのよい挨拶ができる児童が増え、学校全体での互いにコミュニケーションを図ろうとする土壌が醸成されてきている。

【児童会活動】「かがやく黒髪プロジェクト」

【ねらい】

運営委員会を中心に、黒髪小学校を今以上に輝かせるために「あいさつ」「掃除」「廊下歩行」「スリッパ並べ」「すばやい行動」の5つのポイントについて学校全体で取組を行うことで、黒髪小学校を今以上に大切に感じ、自分たちの手でさらによりよくしていこうとする自治的な考えを育成する。

【活動の概要】

黒髪小では、ゴミ拾いや挨拶運動など、各学年や個人など、それぞれで取り組んでいる内容は多くあった。今回の児童会からの提案、計画により、これまでの取組が黒髪小を今以上にかがやかせるためのものであるという価値づけになった。さらに、「かがやく黒髪」プロジェクトのために、ビブスを作成し、今後活動時には着用していく。

【成果】

今回、学校をよりよくするというテーマのもとに、児童会が主体となって、かがやく黒髪プロジェクトを始動させ、ビブスの作成などを進めた。今後、作成したビブスを使用し、校内外に黒髪小のかがやきを発信していく土台作りができた。今後が楽しみである。